

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		道路維持管理事業		担当課	道路管理課	担当係	道路維持係	管理番号	4134	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	道路法					
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		市道の安全を確保するため、路面や構造物の修繕を行うとともに、排水施設や街路樹の維持管理を行う事業である。								
目的 ※何のために		安全かつ快適に通行できる道路空間を確保するため								
対象 ※誰・何を対象に		市道の舗装、排水施設その他道路施設								
手段 ※どのように		点検、調査、設計、補修等を行う								
成果 ※何を求めるか		道路機能を維持し、事故を未然に防ぐ								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	8	土木費	2	道路橋りょう費	1	道路維持費	道路維持管理事業	406,954,528
		一般会計	8	土木費	2	道路橋りょう費	1	道路維持費	遊歩道維持管理事業	44,720,794
本事業の 主な業務		・道路維持修繕工事					・道路側溝蓋、穴埋め用合材、切込碎石の購入			
		・道路の緊急修繕					・道路側溝蓋掛け工事			
		・植栽管理業務					・簡易補修			
		・側溝土砂収集運搬処分業務					・凍結防止剤の散布作業			
		・道路パトロール					・資材の調達及び機材の貸出			
		・災害時の復旧対応					・トイレ清掃業務			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		遊歩道維持管理事業と統合道路維持修繕工事植栽管理・除草業務	道路維持修繕工事植栽管理・除草業務	道路維持修繕工事植栽管理・除草業務	道路維持修繕工事植栽管理・除草業務	道路維持修繕工事植栽管理・除草業務	道路維持修繕工事植栽管理・除草業務
事業費	予算(現額)	603,905,000	578,484,000	534,012,000	515,685,000	485,520,000	491,937,000
	決算額	557,565,972	521,451,688	497,216,020	492,358,565	451,675,322	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	557,565,972	521,451,688	497,216,020	492,358,565	451,675,322	491,937,000
人件費	従事職員数(人)	6.98	6.98	7.10	6.94	6.90	6.65
	人件費相当試算※	28,626,720	54,318,360	55,813,100	56,463,840	53,557,214	54,073,464
総事業費試算		586,192,692	575,770,048	553,029,120	548,822,405	505,232,536	546,010,464

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	舗装修繕工事施工延長	目標値	km						1.6
		実績値		3.02	2.38	3.46	2.37	1.36	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和4年度以降は深谷市舗装修繕計画に基づき老朽化路線を定め平準化し目標値を設定している。					
	実績値の算出式								
成果指標 1	道路維持管理上の事故件数	目標値	件	0	0	0	0	0	0
		実績値		3	1	2	4	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			管理上の事故は、常に発生しないようにしている。 / 申請された件数					
	実績値の算出式								
成果指標 2	道路維持管理上の苦情件数	目標値	件	0	1058	1048	1037	1027	1016
		実績値		1189	1322	1267	1754	1561	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			H28年度より1%程度の削減目標としている。 / 当該年度実績					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	予算の範囲内で修繕を必要とする路線を効率的に行っている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	毎年数件発生していた道路維持管理上の事故件数が0件に抑えられたことは評価したい。 苦情件数は増加傾向にあるものの、これら苦情を含め、道路損傷箇所の早期発見、早期修繕の対応が効率的に行えたことで事故件数に繋がった成果であると考えたい。
			評価者 道路維持係長 新井 一富

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	道路環境に関して市民から寄せられる苦情内容は、年々着眼点が厳しくなり、些細な点も通報を受ける状況となった。こうした苦情に対しても、あらかじめ保有する資機材を用いて1件ずつ丁寧に対応できたことによって道路瑕疵案件を0件に抑えた。今後も事故や破損を未然に防ぎ、効率的な道路の維持管理を行っていくことで苦情件数や道路瑕疵案件の減少を目指す。
			評価者 道路管理課長 宮下 昌規

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	これまでは、自治会からの修繕要望やパトロールによる破損箇所の修繕などを行う「事後保全型」の維持管理に加え、令和2年度に深谷市舗装修繕計画（個別施設計画）を策定し、主要幹線道路に対し、調査車両による現状把握と想定破損曲線に基づき修繕を行う「予防保全型」の維持管理も並行して行う。それにより、事故や破損を未然に防ぎ、効率的な維持管理を行っていくことで苦情件数や道路瑕疵案件の減少を目指す。
達成状況及び その効果	苦情件数は増加傾向にあるが道路瑕疵案件の減少となった実績は目標を達成していることを表している。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道路維持管理事業	担当課	道路管理課	担当係	道路維持係	管理番号	4134
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		維持管理上の事故は0件であったが、苦情件数は目標に達しなかった。前年度と同様、苦情件数の増加が著しい背景には、コロナ禍という社会問題も影響し、市民が限られた地域での生活を求められていることから、居住地域の細部についても要望が寄せられるようになっている。こうした社会状況の変化も注視しつつ既存事業の拡充を行い、道路の修繕等をより迅速に実施できるよう、資源の投資を拡充し、苦情や事故に対して適切な処理・対応を行う必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	道路管理課長 宮下 昌規				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	道路の維持管理に関しては、市民からの情報提供やパトロールにより破損箇所を確認した際、速やかに修繕を行う従来の事後保全型維持管理と、令和2年度に主要幹線道路を主に対象とし策定した深谷市舗装修繕計画（個別施設計画）を基にした予防保全型維持管理を加え効率的に維持管理を行うことで苦情件数や道路管理瑕疵案件の減少を目指す。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	舗装修繕計画（個別施設計画）に基づく予防保全型維持管理を行いつつ、花園IC拠点整備等、地域の土地利用の変化により交通需要も大きく移り変わることから、予防保全型・事後保全型を効率よく組み合わせることで、道路の経済的な維持管理の実現に努める。

8. 評価指標グラフ

